

築城郡屋（現延塚記念館）や小倉藩の重臣が休憩・宿泊する御茶屋が設けられた。郡御蔵所があった椎田湊は築城郡内の年貢を集積し、小倉城下へ船輸送する拠点として栄えた。また椎田宿は、西側で香春道・求菩提道（寒田道）・英彦山道（秋月往来）に分岐することから、中津街道だけでなく、これら脇街道の人馬継立も行い、まさに築城郡の中心地で、数多くの豪商や宿屋・商店が軒を並べ、政治・経済・交通の中心地として繁栄した。こうした街道は、現在も生活道路として機能し、椎田宿や湊、および脇街道の築城や安武の町並みは、かつての面影を今に伝える。

現在は国道 10 号線の開通でかつてのルートが分かりづらくなり、町並みや景観も多く失われてしまったが、中津街道の存在を一般に周知・普及することと、その歴史を知る喜びや郷土への愛着を育み、さらに、中津街道を生かした町づくりや地域振興へと発展させることを本計画の目的とする。

## 第Ⅱ章 中津街道の概要

### 第 1 節 中津街道の歴史

江戸時代になると、江戸日本橋を起点に五街道（東海道・中山道・日光街道・奥州街道・甲州街道）が整備され、九州にも長崎街道をはじめとする八街道と脇往還が整備された。中津街道は、小倉城下の常盤橋から中津城下まで全長 52kmにおよぶ江戸時代初期に整備された主要幹線道路で、全長 52kmのうち、約 8kmは築上町を通り、町内各所で求菩提道（寒田道）・香春道・英彦山道（秋月往来）に分岐する。

明治9年（1876）から昭和8年（1933）まで、中津街道は国道の一部として機能した。明治30年（1897）には豊州鉄道柳ヶ浦線（現 JR 日豊本線）が中津街道に沿って鉄路を敷設し、昭和10年（1935）鉄路に平行した直線の国道が建設され、現在も生活道路の一部として機能している。なお、中津街道という呼称は近年一般的となった通称で、記録では中津往来、中津口往還、小倉往来などと行先名を冠した名称で呼ばれていた。

### 第 2 節 中津街道の現状

湊地区の区間が一部、農地整備のため消失しているものの、そのほかの地域ではルートが比較的に残っている。また、湊の町並みは江戸時代から昭和初期の建物も残り、椎田宿の往時の面影を今に伝える。築上町では、中津街道から分岐する求菩提道、香春道、英彦

山道（秋月往来）の街道沿いが在郷の町として発展した。さらに、築上町の湊は城井川、岩丸川、真如寺川が集まる港湾の海上交通と街道陸路の要衝地として発展してきた。以下、各街道について概略を記載する。

#### 1. 中津街道（小倉道・中津道）

築上町の北西から南東方向に横断する。築城基地内と湊から上り松で農地整備等により一部区間が消滅するものの、その他の箇所は現在でも生活道路の一部として機能しており、比較的良好に残っている。城井川河口には現在「二口橋」が架かるが、江戸時代に橋はなく、浅瀬を歩いて渡ったことが記録からわかる。

#### 2. 求菩提道（寒田道）

JR 日豊本線西高塚踏切（竹本モータース前）で分岐。火葬場横の上・下畷田池前を通り、県道椎田勝山線を横断して広末に抜ける。さらに赤幡神社前を通り、城井川を渡り左折し、現在の県道寒田下別府線を南下する。旧寒田小学校から乳呑坂越えで求菩提山に至る。

#### 3. 香春道

城井川西側の二口の道標で分岐。城井川に沿って上り、上築城四辻・築城小学校付近・上別府集落を経て、椎田勝山線（県道 58 号線）に並走する。行橋市天生田からみやこ町勝山の新町宿を通り、七曲峠越えで香春に至る。

#### 4. 英彦山道（秋月往来）

弓ノ師のメタセの杜交差点南に平行する香春道から分岐し、船迫から山鹿宿（みやこ町犀川）・油須原宿（田川郡赤村）を経て英彦山へ向かう。途中の油須原宿から猪膝宿（田川市）を経て秋月街道に接続するための脇街道である秋月往来へ接続する。

一部を紹介致しました。後は皆さんにお配りした資料をご覧ください。



## 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1、**真実**かどうか
- 2、**みんなに公平**か
- 3、**好意と友情**を深めるか
- 4、**みんなのためになる**かどうか

### 近 隣 R・C への メークアップ の ご 案 内

月曜日・・小倉中央 R.C 「リーガロイヤルホテル小倉」  
火曜日・・行 橋 R.C 「みやこホテル」  
火曜日・・小倉南 R.C 「リーガロイヤルホテル小倉」  
水曜日・・田 川 R.C 「ザ・ブリティッシュヒルズ」  
水曜日・・小倉東 R.C 「ステーションホテル小倉」  
木曜日・・豊 前 R.C 「ニューいずみ」  
金曜日・・苅 田 R.C 「パンジープラザ」  
金曜日・・小 倉 R.C 「リーガロイヤルホテル小倉」  
金曜日・・豊 前 西 R.C 「築上町リサイクルプラザ」

第1836回

Weekly

Report

令和3年11月17日 **No.11**



## 国際ロータリー第2700地区行橋みやこロータリークラブ

「取り組もう 基盤整備と超我の奉仕」  
2021-2022年度 第2700地区  
貫 正義ガバナー

“出会い 大切に！”  
2021-2022年度 行橋みやこロータリークラブ  
会長 大久保正信

本 日 の プ ロ グ ラ ム		11月はロータリー財団月間	
◆開 会「点鐘」 ◆国歌斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」 ◆お客様・ビジターご紹介 ◆会長挨拶 ◆幹事報告・委員会報告 ◆志村ガバナー補佐クラブ協議会 ◆ニコニコBOX ◆閉 会「点鐘」		【西村真人ロータリー財団委員長活動方針】 会員の皆さんにロータリー財団の使命を理解していただき、補助金の活用を勧めていきます。ロータリー財団へ寄付されたお金は、世界中で行われる奉仕プロジェクトで使用されます。直接プロジェクトに参加出来なくても、財団への寄付という形で多くのプロジェクトを支援する事が出来ます。寄付について理解を深めていただき、ご協力をお願いしていきます。	
例 会 予 定		出 席 報 告	11月のお誕生日
◆11月24日(水) 貫ガバナー公式訪問 ◆12月 1日(水) 年次総会 ◆12月 8日(水) R情報会員研修委員会 ◆12月15日(水) 青少年奉仕・RA委員会 ◆12月22日(水) 親睦委員会(クリスマス例会) ◆12月29日(水) 休会 ◆1月 5日(水) 新年夜間例会		会員数:54名 メークアップ:0名 欠席者:19名 出席率64. 81%  お客様:塩田文男 様	沖永義樹R (17日)・緒方正憲R(24日)  田淵優子様(8日)・橋本俊子様(10日) 木村葉子様(15日)・有門幸子様(16日) 原田真里香様(23日)・長尾朋美様(25日) 松山富士香様(27日)

### 【会長の時間】

「仏教について考える－P A R T 2－



35歳で悟りを開いた（自分の生き方が定まった）釈迦は、その後各地を回り、精力的に人々にお話をして回ります。（これを「説法」といいます。）

それを聞いた人たちは、当時は筆記具など全くありませんから、耳にその記録をとどめ、みんなで話の内容を車座になって確かめ合いました。（これを「談合」といいます。）やがて釈迦のお話をまとめたものがインドの古い言語でまとめられ、翻訳されたのがいわゆる「お経」です。一節には、経典によるとその数8万4千と記されています。その後時を経て、チベット、中国、朝鮮とわたり漢字で翻訳され聖徳太子によって西暦538年に日本に伝えられました。同じ仏教でありながら、天台宗、日蓮宗、浄土宗、浄土真宗など各宗派

●創 立・・・1984年4月3日  
●例会日・・・水曜日(12:30～13:30)  
●例会場・・・みやこホテル Tel 0930-23-1800 行橋市宮市町9-18  
●事務局・・・〒824-0005 行橋市中央1丁目9-50(行橋商工会議所 別館1階)  
TEL0930-25-0655 FAX0930-25-5700 E-mail:info@ym-rotary.club

●会 長・・・・・・大久保正信  
●副 会 長・・・・・・田淵哲朗  
●幹 事・・・・・・藤嶽裕司  
●会報雑誌委員長・・・岡崎慎一  
●URL: http://ym-rotary.club



## 【幹事報告】

- ・11月17日ガバナー補佐クラブ協議会、11月24日貫ガバナー公式訪問です。役員委員長は出席お願いします。
  - ・本日よりズーム例会を進めていきたい。クラブ定款第10条出席の第1節一般規定にはオンラインの出席とありますので、当クラブでも取り入れたいと思います。
  - ・例会終了後第5回定例理事会を開きます。
- 2700地区ローターアクト2022～2023年度地区委員有門功太郎君推薦の件
- 12月1日「紅葉例会」会長・幹事共出席します



## 【委員会報告】

### 出席奨励委員会

例会の、出欠の返信が大変少ない状況です。**必ず期日までに返事を宜しくお願い致します。**



### 社会奉仕委員会

お疲れ様です。社会奉仕委員長友住優介です。委員会報告として、11月15日に築城特別支援学校の生徒さんの職業適正検査を行います。新型コロナウイルス蔓延防止の観点から、会長、幹事、担当理事、私、委員長の4人で参加させていただきます。皆様には2月の社会奉仕委員会担当例会にて、その報告をさせていただきます。よろしくお願いします。



### 指名委員会

お陰様を持ちまして、次年度の会長ノミニーが決まりました。委員会の皆様、御協力有難うございました。



## ニコニコBOX

11月10日の合計20,000円  
累計214,500円

## 親睦委員会

## 【いい人誕生日】



### ロータリーについて

今回開かれるワイン部会についてですが、幹事に聞きますと理事会にかけてないと言う事なので、まず理事会にかけて、結論をまつてから開催してください。ロータリーの社会奉仕の理念を持って趣味の会にならないように、趣味の会ならば、個人的にするようにして下さい。

## ニコニコBOX

**大久保正信R:**塩田委員長、貴重なお話、ありがとうございました。参考になりました。

**有門功太郎R:**いい人誕生日ありがとうございました。塩田様、卓話有難うございました。

**石田之茂R:**塩田様、卓話有難うございました。

**内田克彦R:**本日開催のワイン部会、13名の出席予定となりました。

**金澤 隆R:**職業奉仕の為、早退します。

**木村謙一R:**いい人誕生日のプレゼントを頂き、ありがとうございました。

**田淵哲朗R:**平石委員長、塩田様、貴重な卓話ありがとうございました。いい人誕生日ありがとうございました。

**長尾浩央R:**塩田様、卓話有難うございます。いい人誕生日ありがとうございました。オリーブオイルは帰って妻にふりかけます。

**西村真人R:**塩田様、卓話有難うございました。平石委員長、ご苦労様でした。

**西村 勝R:**塩田さん、卓話有難うございました。

**原田和博R:**いい人誕生日ありがとうございました。

**平石正信R:**塩田さん、有難うございました。

**藤井賢治R:**いや事を言いに来ました。手続き要覧に載っています。

**松山貞徳R:**塩田様、大変貴重な卓話ありがとうございました。

**山田千恵R:**塩田委員長、卓話有難うございました。

指名委員会にて新会長ノミニーが決定しました。指名委員の皆様、ご協力、大変ありがとうございました。

## 【本日のプログラム】

### 出席奨励委員会

### 委員長 平石正信 R

### 趣旨説明

私たちが暮らす行橋市周辺は、北九州空港の「空の物流」、門司税関の「海の物流」、九州の玄関口の「道の物流」という利点に恵まれたエリアです。北九州市にトヨタ自動車九州、苅田町に日産自動車九州とトヨタ自動車九州、中津市にダイハツ九州があります。近々では、半導体不足により減産も生じているため、供給の早期正常化が望まれます。トヨタ自動車九州は、このエリアに力を入れサプライチェーンを増加する見込みです。そして東九州自動車道の4車線化により、利便性の向上と更なる経済の発展が期待されます。元来、このエリアには「中津街道」があり、江戸時代から昭和にかけて、政治と経済、人の往来と物流の拠点として栄えました。しかし、国道10号線が開通して以降、徐々に忘れ去られています。そこで本日は、私たちが歴史の道を知ること、そして後世に伝えていくことができる機会を作りたいと考え、「中津街道椎田宿」の保存及び活用に尽力されている、中津街道保存活用検討委員会 委員長の塩田文男氏をお招きしております。かつて中津街道で多くの人々が出会い、地域が栄えたように、私たちも今年度大久保会長が掲げている「出会い 大切に！」の精神でこの機会を捉え、さらに見聞を広めてまいりましょう。



### 中津街道保存活用検討委員会 委員長 塩田文男 様 中津街道保存活用計画書

平成 27 年 (2015) 3 月、中津街道保存整備に向けた取組みを推進することを目的に、「温故知新・中津街道保存整備に関する決議」を築上町議会で議決しました。これは江戸時代から昭和にかけて、政治と経済、人の往来と物流の拠点として栄えた中津街道椎田宿と海上交通の拠点「湊」、そして中津街道の脇街道など、歴史の道を後世に伝えることは築上町議会としても重要であると考えたからです。本町には延塚記念館周辺や湊などに中津街道椎田宿の当時の面影がよく残されていますが、その名前さえも知られていないのが現状です。中津街道椎田宿を多くの人々に知っていただき、現在の中津街道と重ね

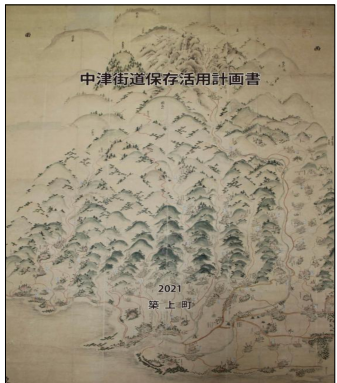


合わせ、街道の歴史を後世に伝える機運を高める一助になればという思いから、中津街道保存活用検討委員会を組織し、活発な討議を重ねてまいりました。この中津街道保存活用計画書が有意義に活用され、本町のまちづくりや地域研究の一助になるとともに、さらには中津街道椎田宿が新たな観光資源の一つとされることを願っております

### 第 I 章 計画策定までの経過と目的

#### 第 1 節 計画策定の沿革

平成 27 年 (2015) 3 月、築上町議会において歴史の道中津街道保存整備に向けた取組みを推進する「温故知新・中津街道保存整備に関する決議」が発議され、全会一致で承認された。これを受け、中津街道を広く周知し、また将来に亘って保存活用する上で、必要な事項の協議、計画等を策定することを目的に中津街道保存活用検討委員会を開催し、ここに中津街道保存活用計画を策定する



#### 第 2 節 これまでの研究及び普及・顕彰活動

- ・平成元年以降 各市町村史誌で中津街道に関する研究が進展。
- ・平成 12 年 (2000) 『中津街道』（豊前の街道をゆく会・足立山麓文化村編）刊行  
この頃から「中津街道」呼称が一般化。
- ・平成 20 年 (2008) 豊の国風景街道推進協議会設立
- ・平成 25 年 (2013) 「京築めぐり」（京築連帯アメニティ都市圏推進会議）中津街道を歩く
- ・平成 28 年 (2016) 滝ノ本橋周辺の県道改修時に、中津街道滝ノ本橋サイン設置。延塚記念館前に中津街道と椎田郡屋サイン設置。
- ・平成 29 年 (2017) 企画展「中津街道と築上町の近代」開催（船迫窯跡公園：来館者 673 名）
- ・平成 30 年 (2018) 中津街道椎田宿リーフレット制作（本書 40 頁）
- ＊その他、民間団体において中津街道史跡探索ウォーク、伊能忠敬 100km ウォーク、建築士会による建築物調査と灯籠を設置する取組などがなされてきた

#### 第 3 節 計画の目的

築上町の椎田駅北側はかつて、陸海交通の要衝地だった。現在の JR 椎田駅前国道 10 号線北側は、かつて中津街道椎田宿で、当時の築城郡の政務を司る。